

鈴鹿10時間耐久レース(SUZUKA 10 HOURS) 公式予選 タイトルスポンサー決定のご案内

鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)にて、2018年8月24日(金)～26日(日)の期間に開催する「第47回 サマーエンデュランス『鈴鹿10時間耐久レース(SUZUKA 10H)』」の予選セッションのタイトルスポンサーに、BBSジャパン株式会社(東京都中央区・代表取締役社長 野坂訓正)が決定いたしました。

これにより、予選セッションは「BBSジャパン エキサイティングアタック」の名称で行われ、世界から集まった有力チームが、翌日スタートを迎える記念すべき第1回レースのポールポジションを懸けて、戦いを繰り広げます。

**名称：和文表記：BBSジャパン エキサイティングアタック
英文表記：BBS EXCITING ATTACK**

開催日時：2018年8月25日(土) 13:00～

BBSジャパン株式会社 代表取締役社長 野坂訓正 様

『この度は、鈴鹿10時間耐久レースの開催をサポートすることができ、大変うれしく思います。私たちBBSジャパンは、ホイールメーカーとして数々のチャレンジに取り組んでまいりました。中でもモータースポーツは、私たちのものづくりの原点である「安全で壊れない」を具現化するにふさわしい活動の場として、国内外のメジャーレースに鍛造レーシングホイールを供給しており、頂点に挑む数々のチームに採用していただいております。10時間という長丁場のレースではありますが、まずは決勝スタートのポールポジションを目指し、チームワークを駆使して繰り広げられる熱戦を応援いたします。』

BBSジャパン株式会社について

1983年、独自の鍛造技術を活かしてアルミ鍛造ホイールの量産化を実現。独自の工法で圧倒的な軽さと強靭さを両立した、BBSの鍛造ホイールは、一般的な铸造に対し、鍛造は技術的に困難で量産に向かないとされていた当時、自動車の重要保安部品であるホイールの常識を完全に打破しました。

一方、モータースポーツでは1991年F1用のマグネシウム鍛造ホイールを世界で初めて実用化に成功し、1992年からは、フェラーリ社へ納入を開始。フェラーリ社は、1992年から2011年までの間でコンストラクターズタイトル8回、ドライバーズタイトル6回を獲得。

そして現在は、ニルブルクリンク24時間耐久レース、ル・マン24時間耐久レース、SUPER GT、SUPER FORMULAなど、国内外のメジャーレースの頂点に挑む数々のチームがBBSを採用しています。

【会社概要】

代表者 代表取締役社長 野坂訓正
高岡本社・工場：〒933-0313 富山県高岡市福田六家525
東京本社： 〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町9-9
資本金： 1億円
事業内容： 車両用軽合金ホイールの製造販売
製造品目： 車両用アルミ鍛造ホイール、車両用マグネシウム鍛造ホイール、アルミ・マグネシウム製鍛造レーシングホイール
子会社： BBS Motorsport GmbH(ドイツ)
株主： 前田工織株式会社(100%出資) 東証一部上場(証券コード：7821)
ホームページ： <https://bbs-japan.co.jp/>

